登装の基礎知識②

| 塗装の基礎知識| ~塗装用具について~

傷みを防ぎ、見た目もきれいにするペンキ塗り。まずは、塗装用具の種類や選び方、手入れをチェックしておきましょう。

逯 O 種

類



水性用と油性用があり、 などの狭い場所や家具な どを塗るのに適しています。





平らな面に塗るのに使います。 水性用と油性用があります。





スやステインを塗るときに 使います。





広い面積を簡単に、スピーディーにきれいに塗れます。





新しいハケを使う

できるだけ抜け毛を取ってお くこと。ハケの柄を両手で挟 んでまわすと毛が浮いてくる ので、手でしごいて抜け毛を 取ります。



ヽケが固まらない

塗装中など、しばらく使わな いハケは、水性、油性どちら の場合でも、ぬらした雑巾に はさんで、ポリ袋の中に入れ ておくと固まりません。





★塗り始める前に気をつけること ― –塗る面をきれいにし、マスキングをしっかり行いましょう。

- ●塗る面をきれいにしておく………古い塗膜や汚れ、サビなどを落とし、表面を平らにしておきます。
- ●マスキングをしっかり行う………塗料がついたら困るところをマスキングテープや新聞紙、ビニールシートなどでカバーします。
- ●塗料に適したうすめ液を用意する…水性塗料は水、油性塗料はペイントうすめ液、ラッカースプレーなどはラッカーうすめ液を用意します。
- ●塗料は使う前によく混ぜる………割り箸や棒などで容器の底からよく混ぜて使い始めます。
- ●一度に厚く塗らない…………薄く塗って乾いてから重ね塗りしたほうが、きれいに仕上がります。ただし「1回塗り」と表示してある 塗料の場合は、厚塗りできるようになっています。

ハケの手入れ

塗料を割り箸などでしごき落 とし、さらに新聞紙などにな すりつけて、塗料をできるだ け落としておきます。



水性塗料の場合は水 洗いをします。油性 塗料の場合は「ペイ ントうすめ液」また は専用の「ハケ洗い 液」を使って洗い、 その後、水洗いしま す。



次に使うときにしなやか にするには、水性も油性 も台所用洗剤で洗うのが コツ。よくすすいで陰干 しします。ローラーバケや コテバケも同じ要領で、 水性塗料の場合は水、油 性塗料の場合は「ハケ洗 い液」で洗い、水洗い(洗 剤洗い)で仕上げます。



ハケの持ち方

- ①持つ所は、柄の中心よりやや上。
- ②あまり強く握らないこと。
- ③ハケをラクに動かせるよう、ひじや 手首にあまり力を入れないこと。

塗料の含ませ方

- ①毛たけの1/3~2/3までを塗料の中 に入れる。
- ②穂先に平均に塗料を含ませる。
- ③塗料の容器の内面に柄が触れるようにする。 ④容器の端で軽くしごいてから塗り始める。



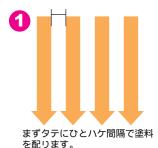


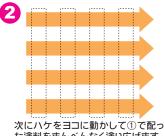




ハケの使い方

ハケの動かし方は、塗料によって異なります。油性塗料のような乾燥に時間のかかる塗料の場合は、イラストのよ うな手順で3段階にわけ、タテヨコ十分に塗っていきます。一方、ラッカー系塗料のようにすぐ乾燥してしまう塗 料なら、ハケを素早くタテ方向に動かして塗り上げます。









た塗料をまんべんなく塗り広げます。

最後にもう一度ハケをタテに動かし ていきながら、ハケ目を整えます。

ローラーバケとコテバケ

広い面を簡単に塗ることが出来る道具として、ローラーバケ、コテバケを忘れてはなりません。表面に凹 凸のある場合はローラーバケを、フラットならコテバケを使います。どちらもつぎ柄が付けられますの

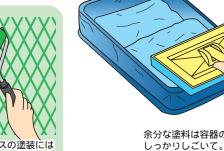
コテバケの使い方

で、高い天井や屋根の塗装などもラクラク行えます。いずれで塗装する場合も隅などは、すじかいバケであらかじめ塗っておきます。

「ローラーバケの使い方

受け皿に用意した塗料にローラーを浸し、ロ ーラーを数回転がして付着した塗料を均一に します。次に、①塗装面に塗料をW字に配 り、②ローラー幅の1/3ほどを重ねて塗り ます。最初はローラーを強く押しつけないよ うに。塗料が減ってきたら徐々に力を入れる のが美しく塗るコツです







受け皿に用意した塗料にコテバケを 十分に浸したら、余分な塗料を受け 皿にしごいてしまいます。塗るとき は手前に引くように心がけ、コテバ ケの下方は少し浮かせぎみにすると 美しく塗れます。



※緑の文字は、アヤハディオで取り扱っている商品です。



アプリ限定クーポンでお得にお買物 ! !

(ディオアプリ会員



Point ポイント カード 機能









ダウンロードは







